

## 学校法人敬心学園・学術研究誌『敬心・研究ジャーナル』投稿要領

### 1. 投稿者資格

学校法人敬心学園・学術研究誌・編集規程第 4 条に基づき、投稿者は、共同研究者を含め、投稿者資格を得ていなければならない。

### 2. 投稿原稿の条件

学校法人敬心学園・学術研究誌・編集規程第 6 条に示す欄のうち、総説以外については、原則として学校法人敬心学園・学術研究誌・編集規程第 3 条による自由投稿とする。

### 3. 投稿原稿の規定

投稿する原稿は、未発表のものに限る。「二重投稿・多重投稿」は、認められない。万一発覚した場合は、別に定める規程によって、投稿停止期間を設ける。なお、同じデータ・事例・資料等に基づいて投稿者及びそのグループが執筆した別の論文・報告書等(共同執筆も含む)があれば、投稿時に添付すること。なお、添付する資料には、既発表論文・報告書等のみならず、現在査読中であるものも含む。

#### 4-1. 投稿申し込み(エントリー)締切(全原稿対象)

原稿投稿の申し込み(エントリー)締切は、査読の有無にかかわらず、6 月末日発行の場合 2 月 10 日、12 月末日発行の場合 8 月 10 日とする。『敬心・研究ジャーナル』エントリー時・投稿原稿チェックリスト」を使用する。

#### 4-2. 投稿原稿の締切

投稿の締切は、毎年、6 月末日発行の場合、3 月 10 日(査読希望原稿)・5 月 10 日(査読なし原稿)、12 月末日発行の場合、9 月 10 日(査読希望原稿)・11 月 10 日(査読なし原稿)とする。査読の結果、再査読の場合は掲載が遅れることもあるため、査読希望原稿は締切日以前の投稿が望ましい。

### 5. 投稿の手続き

投稿の手続きは以下のとおりとする。

- 1) 執筆形式の確認:「執筆要領」に沿ったものであること
- 2) 投稿の方法:投稿はメール添付とし、投稿の提出先は職業教育研究開発センター事務局とする。

\* 投稿原稿本体の PDF・Word ファイルおよび、次項に示す「投稿原稿チェックリスト」の PDF ファイル各 1 点をメールに添付して送信(1 通のメールに、上掲 2 点を同時に添付するのが難しい場合は、複数のメールに分けて提出することも可)。

### 6. 投稿原稿掲載の可否

投稿原稿掲載の可否は、「投稿受領から掲載までのフローチャート」に基づく審査により、学術研究誌編集委員会(以下「委員会」という)が決定する。

### 7. 投稿原稿の掲載日

投稿原稿がフローチャート上の査読過程で、当該号の掲載決定期日までに間に合わない場合は、次号への査読が継続しているものとみなす。

#### 8. 倫理上の配慮について

投稿者は、著作権や研究対象者の人権尊重に努めること。また、論文に関連する企業や営利団体等との利益相反(COI)がある場合は、チェックリスト末尾の特記事項欄に明記する。倫理的事項に関する審議が必要な場合、学校法人敬心学園職業教育研究開発センター倫理委員会で協議することもできる。

#### 9. 抜き刷りについて

原稿が掲載された者が、抜き刷りを必要とする場合は、投稿時に申し出ること。なお費用は自己負担とする。

#### 10. 投稿原稿の保存について

投稿された原稿および提出された電子媒体等は返却せず、2年間の保存のうえ、廃棄する。

#### 11. 海外研究欄

海外研究欄は職業教育等、その研究の動向の紹介にあて、その依頼は委員会が行う。

#### 12. 書評欄

書評欄は、国内外の職業教育研究に関する批評にあて、その依頼は委員会が行う。

#### 13. 要領の変更

本要領の変更は、学校法人敬心学園 学術研究誌『敬心・研究ジャーナル』編集委員会の議決を経なければならない。

#### 14. 投稿原稿の電子配信および本誌の販売

投稿者は、学校法人敬心学園が契約する電子配信媒体への投稿原稿電子データ掲載および希望者への本誌販売を許諾したこととする。

### 附則

- 1 この要領は、2016年12月20日より施行する。
- 2 2017年2月17日改訂(4. 投稿原稿の締切)
- 3 2017年5月18日改訂(14. 投稿原稿の電子配信および本誌の販売)
- 4 2017年10月20日改訂(4. 投稿原稿の締切)
- 5 2019年6月7日改訂(5. 投稿の手続き、8. 倫理上の配慮について)
- 6 2019年12月9日改訂(4-1 投稿申し込み(エントリー)、締切 4-2. 投稿原稿の締切)
- 7 2020年12月15日改訂(4-1 投稿申し込み(エントリー)対象の明確化)